



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報 THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

〔創立〕1964年3月2日 〔例会日〕毎・金曜日12時30分 〔例会場〕オークラ千葉ホテル
 〔会長〕竹尾 白 〔幹事〕橋口 徹 〔会報委員長〕松尾 博之
 〔事務局〕〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2014-2015年度

第2480回



平成27年1月16日(金)点鐘12:30 《晴》

- ◆◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆◆お客様紹介

<本日のゲストスピーカー>
ひがき 順子様

◆◆会長挨拶及び報告 竹尾 白会長

皆さん、こんにちは。本日、第2回目の特別会員増強委員会が11時半からありました。後ほど、北原委員長より報告があると思います。

「千葉の初笑い」で、ひがき順子さん、宜しくお願い致します。

塩谷会員の事業所を新築されたということでおめでとうございます。

寺澤会員、退院おめでとうございます。

◆◆委員会報告

◇社会奉仕委員会より (塩谷邦昭委員長)

ひかり学園だよりの12月号と1月号がメールボックスの中に入っています。その中の記事に、千葉南クラブの協力姿勢が載っておりますので、目を通しておいてください。前回、皆さんにご協力いただいた野菜販売では、255,300円の売り上げがありました。そして、「いきいきフェスタTAKO」でのバザーでは、皆さんに献品していただき、かなりの売り上げがあったと聞いております。

また、缶ジュースやビールのプルタブを橋口幹事が集めていただいて、2リットルのボトルで256本分を寄付いたしました。有難うございました。

◇会員増強委員長 (北原俊彦委員長)

本日、「第2回特別会員増強委員会」を開催致しました。当クラブがもっともっと活性化するようにということで開催しております。

そこで皆さんにお願いをしたいのは、会員増強を会員が全員で参加していただきたいということです。宜しくお願いします。

増強でいろいろアプローチをかけたいのですが、たとえば元会員さんの企業や個人を知っているという方は、積極的にもう1度戻ってもらえるよう話をしてほしいと思います。増強に貢献した人、推薦者になった方には、会の方から表彰したいと思います。第2790地区の会員増強委員長に私が推薦され任命されました。ということで、面子にかけても当クラブの計画した事項を成功させたいと思います。宜しくお願いします。

◆◆ニコニコボックス報告

《竹尾 白会長・橋口 徹幹事》

ひがき様、本日は、笑いを忘れた堅苦しいオジサマ族に笑いを取り戻して下さい。

《植松 省自会員》

寺澤さん、退院おめでとうございます。心臓の大手術、成功して良かったですね。

《植松 省自会員》

遅まきながら・・・、昨年の忘年家族例会のジャンケンファイトで、小生の家族が、竹尾会長提供の羽毛布団(時価3万円)と北田さん(オークラ千葉ホテル)提供の食事券をゲットしてしまいました。

有難うございました。

《塩谷 邦昭会員》

お祝いをいただき、有難うございました。

《三神 秀樹会員》

1月13日(火)到北京ロータリークラブの新年例会に参加してまいりました。フルーツの生演奏もあり、とても素晴らしい新年会でした。



本日のニコニコボックス	12,000円	累計	443,000円
金の箱	1,244円	累計	15,330円

◆◆ 出席報告 (会員数51名)

出席者数29	欠席者数21	ビジター 1	修正出席率 次回
--------	--------	--------	----------

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい。](#)

千葉RC	月	2/23	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	1/27・2/24	センシティブー「東天紅」
千葉幕張RC	火	2/17	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	1/28・2/25	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	2/4・2/18	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	1/29・2/19	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	1/29・2/19	京成ホテルミラマーレ

本日の卓話

演 題⇒ 「千葉の初笑い」
卓話者⇒ ひがき 順子様



皆様、初めまして。ひがきと申します。宜しくお願ひ致します。

民話と申しますと、東北とか新潟とかの方がたくさんあると言われておりますけれども、千葉県にもたくさん民話がございます。

その話を聞いていただきたいと思ひます。

南房総に増間という所がございます。

そこは、桶狭間の戦いとかいろいろな戦いの後、落ち延びてきた人達が部落を作りました。そこが増間なんですね。追手の人が来たときに困るので、増間のやつはバカだ、頭が悪いというような話がたくさん出てきたのです。増間のバカ話というのがたくさんありますので、その中から語らせていただきたいと思います。

◇ 「鏡」・・・鏡を知らない人の話

◇ 「千葉笑い」・・・千葉寺の境内で、大晦日に民百姓が本人と解らないよう変装して集まり、1年間のいろいろな悪口や愚痴を言い合い、それをみんなで笑い飛ばし、鬱憤をはらして新年を迎えるという話

最後に皆さんで笑いの勉強をしたいと思ひます。笑うということは、ストレスを和らげたりして身体にととても良いということが医学的にも云われています。泣くのも良いのだそうです。でも、泣くというのは、人前ではなかなかできませんよね。ですから、笑うということは、とても良いことですので、どうぞ、今年はこの笑いをいろんな所でなさってください。

笑いというのは、「あ・い・う・え・お」の母音で決まります。活字に書いてあるのは、「ハハハ」とか「ヒヒヒ」とか書いてあったりしますが、あれはそう聞こえるから書いてあるだけです。全部「あ・い・う・え・お」で笑えばそれが出てきます。

「あ」だったら「あははは」。「お」で笑ったら「おほほほ」。「う」で笑ったら「うふふふ」。「い」で笑ったら「いひひひ」。「え」は「えへへへ」。1番良いのは、喉の奥が見えるくらいの笑いをしますとストレスもかなり解消します。嫌なことを笑い飛ばすという術をひとつ心得ていてくださると、ずいぶん違うと思ひます。

それではこれから、胸に手を当てて嫌なことを思い浮かべて、皆さんで笑い飛ばしましょう！



ひがき順子さんについて (インターネットより)

ひがきさんは30数年前に読み聞かせを頼まれたのがきっかけで語り部に足を踏み入れた。

「そのころは図書館から本を借りて子どもに聞かせていましたが、自分でやっているにもかかわらず面白くなってどうにかしなくてはと思ひました」。そこでひがきさんは話を暗記して少し演じてみようということになった。「すると子どもが熱心に聞くようになりました」

95年に公民館から語りの指導を頼まれた。「しかし自己流のために指導となると失礼なと思ひ、落語家の春風亭小柳枝さんの下に通うことになりました。小柳枝さんのおかみさんとある会で一緒でしたので落語を聞きにいつかこの方に教わることになりました」。

間の取り方などを教わったが、あくまで語りでの指導をしてもらったという。そして99年に1回目の独演会を開いた。その時、春風亭小柳枝も特別出演してくれた。それ以降、紙芝居実演家の第一人者の右手和子さんに師事して紙芝居も演じるようになった。

ひがきさんは、「民話の語りは千葉の民話だけに限っています。私自身佐原(現香取市)の出身ですので千葉弁で語りますが、あまりなまりが強いと意味が全く分からなくなります。そのためにほどほどのなまりで分かるように伝えます」。

ひがきさんの持ちネタは50以上に及ぶ。長い話で40分、短いと10分くらい。これをすべて暗記している。

第2481回例会

日 時⇒ 平成27年1月23日(金) 点鐘12:30

卓 話⇒ 『今日も元気で能天気』

卓話者⇒漫画家 さとう 有作氏

第2482回例会

《懇親夜例会 (屋形船例会)》

日 時⇒ 平成27年1月30日(金)

場 所⇒ 浜松町